

特定非営利活動法人獣医系大学間獣医学教育支援機構

2019年度（第6期）第3回理事会（メール会議）議事録

発信日 : 2020年4月27日(月)

回答期限 : 2020年5月8日(金)

理事総数 : 17名

メール送付理事氏名（敬称略）:

高井 伸二	堀内 基広	志水 泰武	小川 晴子	落合 謙爾
堀 正敏	柴田 秀史	霜村 典宏	佐藤 晃一	日高 勇一
三角 一浩	岡田 利也	寺岡 宏樹	小山 秀一	村上 賢
森友 忠昭	吉川 泰弘			

監事氏名（敬称略）: 稲葉 睦、田中 良和

定款第36条に基づき、下記の議案についてメール会議を行い、可否を求めた。

【審議結果】

第1号議案 2020年獣医学共用試験における「新型コロナウイルス感染症」に配慮した特別な対応に関する件

今後実施予定の2020年獣医学共用試験（B日程：5月～9月）においては、関係者の健康と安全を最優先に、下記のような「特別な対応」で試験を実施することが承認された。

なお、1名の理事からは、状況は十分理解できるが、県境を越えない県獣医師会等の公的な外部機関関係者に協力を仰ぐことで外部評価者を入れて実施するなど、外部関係者不在での試験実施は慎重に判断してほしい旨の反対意見があった。

「特別な対応」

1. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染症の拡大防止ならびに関係者の健康と安全を考慮し、外部関係者（全体評価者、イー・コミュニケーションズ、医療面接外部評価者、標準クライアント）の派遣を行わないものとする。

1) 全体評価者（vetCBT および vetOSCE）：大学の責任者に一任する。作業・報告内容については、近日中に各委員会より通知。

2) イー・コミュニケーションズの大学への派遣は行わない（試験時の対応については、近日、vetCBT 委員会より通知）。

3) 医療面接外部評価者：内部評価者2名で実施する。

4) 標準クライアント：実施施設の教職員等が務める（認定基準等は、近

日中に vetOSCE 委員会より通知)。

2. 各大学で共用試験を実施する際には、3密回避・マスク着用等、各大学の COVID-19 対応に準拠することを求める。

3. 3密回避の目的で、以下の対応を可能とする。

- 1) 試験日を複数に分けて実施すること
- 2) 学生を少人数に班分けして別日に試験を行うこと
- 3) OSCE では、各試験課題を別日に実施すること

4. 諸事情により、共用試験 (vetOSCE) の日程を設定できない場合：参加型臨床実習に学生を参加させるための事前実習^(注)の中で、vetOSCE 事前実習資料を用いた教育と vetOSCE 試験あるいは vetOSCE 委員会で認められた認定試験を行うことにより、その成績を共用試験のものとして認定する。

(この場合、事前に、教育内容と試験に関する打合せを必要とするので、vetOSCE 委員会へ要相談。)

^(注)：事前実習期間を準備することができない場合は、大学の裁量で参加型臨床実習期間中に事前実習の内容を組み込むことも可とする。

2020年5月11日

特定非営利活動法人獣医系大学間獣医学教育支援機構理事会

議長 高井 伸二



議事録署名人 堀 正敏



議事録署名人 吉川 泰弘

